

	現状・問題点	対応方針	具体的な計画	達成状況		
				令和元年9月	令和2年9月	令和3年9月
1	医師事務作業補助者を活用できていない。	医局に医師事務作業補助者を配置し、診断書作成の補助、検査結果の整理、診療記録の代行入力等を実施する。電子カルテへの対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医師事務作業者の人数を増加する</li> <li>・検査の手順等の患者への説明業務を移譲する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■実施済み</li> <li>△一部委譲</li> </ul>		
2	診療記録、診断書の作成、処方箋等の文書の記載で医師が多忙になっている。	電子カルテの活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子カルテの運用の見直しを、IT推進委員会にて実施</li> <li>・特定の診療科への援助を病院全体で検討する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>△実施中</li> <li>□検討中</li> </ul>		
3	病棟配置薬剤師を活用できていない。	薬剤師による病棟業務を見直し、医師の支援を充実させる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・薬剤師の人数を増加し、病棟の服薬指導を薬剤師にて実施する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■実施済み</li> </ul>		
4	医局会の定期的な開催が実施されていない。	勤務医からの業務負担に関する要望を吸い上げる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医局会を月に1回の定時開催とする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□検討中</li> </ul>		
5	医師の有給休暇の取得率が悪い。	<p>医局内で文書で有給休暇の取得について広報する。</p> <p>医師の勤務体制の見直しを実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他病院職員と同等の取得率となるよう目標値を設置 衛生委員会での数値管理の徹底</li> <li>・勤務計画上、連続当直は行わない</li> <li>・予定手術前日の当直や夜勤は行わない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□検討中</li> <li>■実施済み</li> <li>■実施済み</li> </ul>		
6	外来での医師の業務が煩雑になっている。	外来での各種のコメディカル業務を見直す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医師以外でも可能な業務をコメディカルに委譲する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□検討中</li> </ul>		
7	医師の病棟業務が煩雑になっている。	<p>病棟での各種のコメディカル業務を見直す。</p> <p>クリティカルパスの利用の促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・看護補助者を増員する</li> <li>・クリティカルパス委員会の活性化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□検討中</li> <li>△実施中</li> </ul>		
8	医師の勤務時間の報告ができていない。	勤務時間の客観的な把握を検討する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タイムカードの活用の見直しをする</li> <li>・医局長による医師の勤務時間管理を実施する</li> <li>・人事担当者は過度の時間外勤務を確認した場合、衛生委員会へ報告する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>△実施中</li> <li>□検討中</li> <li>■実施済み</li> </ul>		